



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月30日

上場会社名 株式会社 オートボックスセブン 上場取引所 東  
 コード番号 9832 URL http://www.autobacs.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 湧田 節夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 平賀 則孝 TEL 03-6219-8787  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月6日 配当支払開始予定日 平成26年11月28日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	98,042	△5.5	507	△88.6	1,350	△75.8	421	△85.9
26年3月期第2四半期	103,740	△6.4	4,464	5.9	5,591	13.0	2,988	32.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,032百万円 (△76.6%) 26年3月期第2四半期 4,418百万円 (159.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	4.79	—
26年3月期第2四半期	32.59	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	186,425	136,879	73.3	1,579.57
26年3月期	201,481	144,363	71.5	1,608.36

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 136,661百万円 26年3月期 143,978百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	27.00	—	37.00	64.00
27年3月期	—	30.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 27円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	216,600	△6.5	9,000	△35.5	10,800	△34.2	6,000	△38.7	69.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	89,950,105株	26年3月期	92,950,105株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	3,431,995株	26年3月期	3,431,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	87,992,978株	26年3月期2Q	91,705,725株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は平成26年10月31日に証券アナリスト・機関投資家向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で利用する資料及び説明会の模様（動画）については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 事業環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調にあるものの、個人消費におきましては、平成26年4月の消費税増税による駆け込み需要の反動に加え、夏の天候不順も重なり、不安定な状況が続きました。国内の自動車関連消費につきましても、消費税増税後の新車・中古車需要の低迷が継続し、全般的に厳しい状況となりました。

#### ② 国内店舗における営業状況

当第2四半期連結累計期間における日本国内のオートバックスチェーン（フランチャイズチェーン加盟法人店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店8.6%の減少、全店7.2%の減少となりました。

「カー用品販売」におきましては、消費税増税前にスタッドレスタイヤからノーマルタイヤへの履き替え需要が早まった反動に加え、全般的な消費の冷え込みや、新車・中古車販売台数の減少に伴うカーナビゲーションや車内アクセサリなどの商品需要の落ち込みなどにより、売上が減少いたしました。

「車検・整備」におきましては、消費税増税に伴い3月に前倒しで車検を実施した車両が増加したことや、リーマンショックから5年後にあたることから2回目の車検対象の車両が少なかったことなどが影響し、車検実施台数は前年同期比3.5%減少の約26万7千台となりました。

「車販売・買取」におきましては、前年度より取り扱いを開始した店舗の習熟度が上がってきたことに伴い、買取査定台数および成約台数が伸長し、オートオークションなど中古車販売業者向け販売が伸長いたしました。また、小売においては、消費税増税による駆け込み需要の反動があったものの、新車・中古車販売ともに前年実績を上回りました。これらの結果、総販売台数は前年同期比7.5%増加の約10,600台となりました。なお、9月末のカーズ加盟店舗は、前年度末の359店舗から407店舗に増加いたしました。

国内における出退店は、新規出店が7店舗であり、平成26年3月末の571店舗から7店舗増加の578店舗となりました。

#### ③ 連結業績

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比5.5%減少の980億42百万円、売上総利益は前年同期比11.7%減少の305億69百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比0.4%減少の300億62百万円となりました。第1四半期の店舗売上の減少を鑑み、当第2四半期において販売施策を強化したものの、営業利益は前年同期比88.6%減少の5億7百万円となりました。経常利益は前年同期比75.8%減少の13億50百万円となりました。また、株式会社オートバックス神奈川の株式売却に伴う関係会社株式売却益を特別利益に4億1百万円計上し、この結果、四半期純利益は前年同期比85.9%減少の4億21百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては、以下のとおりであります。

##### <当社>

売上高は、前年同期比3.7%減少の786億62百万円となりました。特に当第2四半期においては、消費環境の厳しいなか、店舗売上の増加に繋がるような価格政策、販促施策を推進いたしました。フランチャイズチェーン加盟法人に対する卸売部門においては、自動車販売、燃料などの売上が増加したものの、カーエレクトロニクスや車内用品、オイル・バッテリーなどの売上が減少し、前年同期比3.7%減少いたしました。小売部門では、サービスなどの売上が増加したものの、その他全般的な商品売上が減少し、前年同期比5.2%の減少となりました。売上総利益は、売上高の減少と売上総利益率低下に伴い、前年同期比8.4%減少の159億99百万円となりました。販売費及び一般管理費は、管理可能な経費の削減に努めつつ、広告宣伝や販売促進を強化したことにより、前年同期比8.0%増加の130億8百万円となりました。これらの結果、営業利益は前年同期比44.8%減少の29億90百万円となりました。

##### <国内店舗子会社>

売上高は、前年同期比15.0%減少の305億1百万円、営業損失は前年同期に比べ12億12百万円拡大し、23億97百万円となりました。売上高は、フランチャイズチェーン加盟法人への店舗譲渡に伴う売上減少に加え、消費税増税による駆け込み需要の反動や、新車販売とこれに伴うカー用品需要の低下などにより減少いたしました。売上総利益は、売上高減少と売上総利益率の低下に伴い減少いたしました。販売費及び一般管理費は、店舗子会社のフランチャイズチェーン加盟法人への譲渡に伴う減少があったものの、消費税増税後の売上低迷に対する販促施策強化を継続したこともあり、売上高に対する比率は上昇いたしました。

##### <海外子会社>

売上高は、前年同期比1.1%減少の52億41百万円、営業損失は68百万円（前年同期は70百万円の営業利益）となりました。現地通貨ベースによる各国の状況は、フランスは、バッテリーなどの商品が好調だったものの、収益性の高いサービス売上などが低調で、売上高および売上総利益が減少し、営業損失を計上いたしました。中国で

は、天候不順が続いたこともあり洗車などの売上が低迷したものの、経費削減に努めたことに加え、平成25年10月末に不振店舗を退店したことなどにより、営業損失が縮小いたしました。さらに収益性の向上を目指すため9月に1店舗を閉店し、当連結会計年度中に新たな店舗の開店に向けた準備を行っております。タイヤは、昨年から続く政変の影響や6月末に1店舗を閉店したことなどにより売上高が減少し、これに伴い営業損失が拡大いたしました。シンガポールは、インターネット通販との競合もあり、タイヤの売上が低調だったものの、カーエレクトロニクスやホイールなどが好調に推移し、ほぼ前年並みの営業利益となりました。

<事業子会社>

売上高は、前年同期比2.5%増加の75億82百万円となりました。営業利益は前年同期比63.5%減少の37百万円となりました。主にパルスター株式会社でのオイル卸売における業容拡大に伴う経費の増加などにより、営業利益が前年同期比で減少いたしました。

<機能子会社>

売上高は、前年同期比3.4%減少の15億40百万円、営業利益は前年実績並みの2億37百万円となりました。

<営業利益における連結調整の内容>

セグメントの営業利益の合算額から連結営業利益への調整額は、前年同期と比べ1億12百万円増加の2億92百万円でありました。

#### ④ 「2014 中期経営計画」の進捗状況

オートバックス事業におきましては、「クルマのワンストップ・サービス」を実現する店舗モデルを構築するため、専門チームを組成し、下期から開始する実験検証に向けて検討を進めてまいりました。また、ネット通販と店舗を融合するため、「Amazon.co.jp」で購入されたカー用品をオートバックス店舗にて取り付け・交換できるサービスを9月より開始したほか、プライベートブランド商品である「A.Q.」(オートバックス クオリティ。)ブランドの展開を加速するなど、より収益性の高い事業への変革に取り組んでおります。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7.5%、150億56百万円減少し、1,864億25百万円となりました。これは、主に商品が増加した一方、未収入金、現金及び預金が減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ13.3%、75億72百万円減少し、495億45百万円となりました。これは、主に未払金、支払手形及び買掛金が減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5.2%、74億83百万円減少し、1,368億79百万円となりました。これは、主に自己株式の取得、利益剰余金の配当による減少があったことなどによるものであります。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ54億22百万円減少し、399億62百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に、未払金の減少38億40百万円および仕入債務の減少27億4百万円がありました一方で、売上債権の減少113億19百万円および減価償却費21億15百万円等があり、44億94百万円の資金の獲得(前第2四半期連結累計期間は43億57百万円の資金の獲得)となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に、有形及び無形固定資産の売却による収入7億58百万円および連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入5億45百万円がありました一方で、有形及び無形固定資産の取得による支出31億54百万円および定期預金の預入による支出4億16百万円等があり、14億14百万円の資金の支出(前第2四半期連結累計期間は24億41百万円の資金の獲得)となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に、自己株式の取得による支出50億50百万円、配当金の支払額33億12百万円および長期借入金の返済による支出12億25百万円等があり、85億28百万円の資金の支出(前第2四半期連結累計期間は55億63百万円の資金の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,675	40,378
受取手形及び売掛金	22,467	21,516
有価証券	801	299
商品	16,383	17,677
その他	41,565	31,814
貸倒引当金	△183	△183
流動資産合計	126,709	111,502
固定資産		
有形固定資産		
土地	22,849	22,650
その他(純額)	18,152	18,143
有形固定資産合計	41,002	40,794
無形固定資産		
のれん	880	810
その他	4,712	5,417
無形固定資産合計	5,592	6,227
投資その他の資産		
差入保証金	17,709	17,263
その他	10,552	10,723
貸倒引当金	△84	△86
投資その他の資産合計	28,177	27,900
固定資産合計	74,771	74,922
資産合計	201,481	186,425
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,600	14,888
短期借入金	4,394	5,598
未払法人税等	1,818	1,312
事業再構築引当金	194	74
その他の引当金	477	417
その他	19,547	14,998
流動負債合計	44,033	37,290
固定負債		
社債	15	—
長期借入金	2,312	982
引当金	152	142
退職給付に係る負債	189	135
資産除去債務	2,005	1,964
その他	8,409	9,030
固定負債合計	13,084	12,255
負債合計	57,118	49,545

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,278	34,278
利益剰余金	78,679	71,267
自己株式	△5,165	△5,697
株主資本合計	141,790	133,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,588	2,073
為替換算調整勘定	599	740
その他の包括利益累計額合計	2,188	2,814
少数株主持分	384	218
純資産合計	144,363	136,879
負債純資産合計	201,481	186,425

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	103,740	98,042
売上原価	69,107	67,472
売上総利益	34,633	30,569
販売費及び一般管理費	30,168	30,062
営業利益	4,464	507
営業外収益		
受取利息	47	42
受取配当金	31	59
情報機器賃貸料	636	689
その他	1,500	1,115
営業外収益合計	2,216	1,906
営業外費用		
支払利息	47	36
持分法による投資損失	24	90
情報機器賃貸費用	587	581
為替差損	60	3
その他	369	352
営業外費用合計	1,089	1,063
経常利益	5,591	1,350
特別利益		
関係会社株式売却益	—	401
特別利益合計	—	401
特別損失		
減損損失	194	19
特別損失合計	194	19
税金等調整前四半期純利益	5,397	1,732
法人税、住民税及び事業税	635	1,205
法人税等調整額	1,764	128
法人税等合計	2,399	1,334
少数株主損益調整前四半期純利益	2,997	398
少数株主利益又は少数株主損失(△)	8	△23
四半期純利益	2,988	421
少数株主利益又は少数株主損失(△)	8	△23
少数株主損益調整前四半期純利益	2,997	398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,176	483
為替換算調整勘定	244	148
持分法適用会社に対する持分相当額	0	2
その他の包括利益合計	1,421	634
四半期包括利益	4,418	1,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,410	1,047
少数株主に係る四半期包括利益	8	△15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,397	1,732
減価償却費	2,128	2,115
減損損失	194	19
のれん償却額	72	107
事業再構築引当金の増減額(△は減少)	2	△119
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,909	2
受取利息及び受取配当金	△79	△101
支払利息	47	36
持分法による投資損益(△は益)	24	90
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△401
売上債権の増減額(△は増加)	10,045	11,319
リース投資資産の増減額(△は増加)	499	471
たな卸資産の増減額(△は増加)	25	△1,300
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,179	△2,704
その他	113	△5,263
小計	7,374	6,003
利息及び配当金の受取額	112	126
利息の支払額	△48	△37
訴訟和解金の支払額	△858	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,222	△1,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,357	4,494
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,391	△416
定期預金の払戻による収入	5,392	285
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,696	△3,154
有形及び無形固定資産の売却による収入	10	758
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,010	500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	545
貸付金の回収による収入	270	56
その他	△154	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,441	△1,414
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△183	600
長期借入れによる収入	470	500
長期借入金の返済による支出	△560	△1,225
自己株式の取得による支出	△2,719	△5,050
配当金の支払額	△2,500	△3,312
その他	△70	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,563	△8,528
現金及び現金同等物に係る換算差額	54	26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,290	△5,422
現金及び現金同等物の期首残高	42,832	45,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,123	39,962

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年5月8日開催の取締役会決議により、平成26年5月12日から平成26年9月17日までの期間に自己株式3,000,000株、取得価額の総額5,050百万円を取得しております。

また、同取締役会決議により、平成26年5月15日に自己株式3,000,000株の消却を実施したことにより、自己株式が4,520百万円減少し、あわせて利益剰余金が同額減少いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	58,896	35,420	5,103	3,870	450	103,740
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,764	478	193	3,527	1,144	28,109
計	81,661	35,899	5,297	7,397	1,594	131,850
セグメント利益又は損失(△)	5,418	△1,185	70	103	238	4,644

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,644
棚卸資産の調整額	△245
セグメント間取引消去	△80
のれんの償却額	△61
ポイント引当金洗替額	13
固定資産の調整額	110
その他	82
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	4,464

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	59,111	29,394	5,081	4,002	452	98,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,550	1,107	160	3,579	1,088	25,486
計	78,662	30,501	5,241	7,582	1,540	123,528
セグメント利益又は損失(△)	2,990	△2,397	△68	37	237	800

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	800
棚卸資産の調整額	△247
セグメント間取引消去	△215
のれんの償却額	△107
ポイント引当金洗替額	60
固定資産の調整額	205
その他	12
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	507

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

①部門別連結売上高及び構成比率

部門	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
卸売部門	59,002	60.2	100.3
小売部門	37,429	38.2	86.7
その他(リース物件の賃貸借料)	1,610	1.6	93.6
合計	98,042	100.0	94.5

(注) 表示金額には、消費税等は含まれておりません。

②商品別連結売上高及び構成比率

品目	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
卸売部門			
タイヤ・ホイール	14,256	24.2	102.4
カーエレクトロニクス	12,437	21.1	96.9
オイル・バッテリー	8,448	14.3	99.6
車外用品	5,439	9.2	99.4
車内用品	6,224	10.5	94.7
カースポーツ用品	3,503	5.9	96.2
サービス	1,742	3.0	116.7
その他	6,950	11.8	108.2
小計	59,002	100.0	100.3
小売部門			
タイヤ・ホイール	6,914	18.5	84.4
カーエレクトロニクス	5,486	14.7	80.3
オイル・バッテリー	3,449	9.2	87.0
車外用品	4,381	11.7	90.4
車内用品	4,274	11.4	85.0
カースポーツ用品	2,261	6.0	82.5
サービス	7,001	18.7	86.2
その他	3,659	9.8	105.8
小計	37,429	100.0	86.7
その他(リース物件の賃貸借料)	1,610	—	93.6
合計			
タイヤ・ホイール	21,170	21.6	95.7
カーエレクトロニクス	17,924	18.3	91.1
オイル・バッテリー	11,898	12.1	95.6
車外用品	9,821	10.0	95.2
車内用品	10,498	10.7	90.5
カースポーツ用品	5,764	5.9	90.3
サービス	8,744	8.9	91.0
その他	12,220	12.5	105.3
合計	98,042	100.0	94.5

(注) 1. 表示金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 卸売部門および小売部門の「その他」は、車販売収入、中古カー用品販売およびロイヤリティ収入等でありま  
す。

3. 持分法適用関連会社㈱バッファロー他5社に対する売上高は、卸売部門に入っております。